

立川市視察報告

日時：令和 8 年 1 月 28 日（水）14:00～15:30（立川市役所）
 対応：立川市政策財務部 企画政策課長、総合戦略係長
 視察：長野市議会 総合計画調査研究特別委員会（議員 9 名、書記 1 名）
 随員：長野市企画政策部長、企画課長、企画課係長
 視察項目：立川市第 5 次長期総合計画について

1 立川市第 5 次長期総合計画の概要

(1) 構造 2 層構造

（令和 7（2025）年～令和 16（2035）年度：基本構想 10 年、基本計画 5 年）

< 基本構想（10 年） >

【将来像（未来ビジョン）】 魅力咲きほこり つどい華やぐまち 立川
 ～ 新風を吹き込み 美風を守る ～

【基本理念】

- ① やさしさにあふれる ー多様性・包摂性ー ② 共に創り出す ー連携・協働ー
 ③ 時代に挑む ー主体性・独自性ー ④ 次代に引き継ぐ ー発展・継承ー

- 【まちづくりコンセプト】** ① 暮らしに安全とやすらぎを（市民サービスの視点）
 （視点） ② 人もまちも挑戦し続ける（まちの魅力の視点）
 ③ 連携と改革により時代を切り拓く（自治体運営の視点）

【政策方針】 13 分野ごとの「政策の目的」及び 10 年間の「政策の取組方針」

< 基本計画（5 年） >

【施策】 61 施策ごとの「施策の目的」、「主な課題」、「市民・団体・事業者との協力」、
 「個別計画」、「基本事業」、「成果指標」

(2) 計画の策定の体制等

【庁外】・長期総合計画審議会

（諮問：基本構想について（答申は、上記の基本理念とまちづくりコンセプト））

- ・行財政問題審議会（諮問：基本計画について（行政経営のあり方））
- ・総合戦略・SDGs 推進委員会（総合戦略についての検討等）
- ・市民ワークショップ、市政アンケート、タウンミーティング、市民説明会

【庁内】・第 5 次長期総合計画策定委員会（市長、副市長、教育長及び部長職）

⇒基本構想及び基本計画の素案及び原案の策定

- ・第 5 次長期総合計画政策別検討委員会（政策ごとに関係部長及び担当課長）

- ・施策別会議（各施策を所管する課長級以下の職員）
- ・次世代職員ワークショップ（公募等による35歳以下程度の職員30名）

2 視察時の確認事項

(1) 基本構想について

- ・市民ワークショップの意見を参考に審議会で審議し、答申（6月）を基に、庁内策定委員会において5か月ほどかけて計画案を策定した。将来像（未来ビジョン）は、答申後に市長が決定。1月に市民意見公募（パブコメ）を実施。

(2) 実施計画（年度別計画）について

- ・第4次長期総合計画（平成27（2015）年度～令和6（2024）年度）から、実施計画を策定しなくなった。人口減少や少子化により、計画期間中の事業費を担保することが難しくなったため、毎年の行政評価の中で、重要施策や事業費を選定し、予算編成に生かすこととした。
- ・50を超える個別計画を活用し、この個別計画の位置づけを各施策の実施計画としている。それ以前は、3年間の実施計画を策定していた。

(3) 次世代職員の関わりについて

- ・次世代職員が、庁内のワークショップのほか、市民ワークショップにも参加。80%以上が今後も長期総合計画の策定に参加したいと好意的。また、有志職員による市のPR動画や職員向けの広報誌の作成の動きにもつながった。